

I 令和7年度6月補正予算の主な施策

1 産業の振興

(1) 経済の活性化

- スタートアップ、大企業、投資家など多様な主体による交流会を定期的を開催し、企業や支援機関等の連携により、企業等の成長を促すコミュニティの形成に取り組めます。
- 中小企業における人材の確保・定着等を促進するため、従業員の奨学金返還を支援する企業に対し助成します。
- 働く若者のキャリアアップや所得向上を支援するため、SNSによる相談窓口を開設するほか、交流会等を開催します。また、就職氷河期世代を含むミドル世代の就労を支援するため、キャリアコンサルティングやセミナーの開催等を行うとともに、企業求人の開拓や求職者と企業とのマッチング支援等に取り組めます。
- 本県の豊かな自然を活用した魅力ある観光地づくりを促進するため、養老渓谷温泉郷において多様な主体と連携し、ナイトタイムコンテンツ等の造成や交通便利性の向上に向けた実証事業などを実施します。

<主な事業>

・スタートアップ総合支援拠点事業【新規】	100,000千円（16頁）
・中小企業の人材確保に向けた奨学金返還支援事業【新規】	20,000千円（16頁）
・働く若者・現役世代応援事業【新規】	50,585千円（17頁）
・千葉の自然を活用した観光地域づくり促進事業【新規】	250,000千円（18頁）

(2) 農林水産業の振興

- 次世代の農業を担う新規就農者の確保・育成を図るため、機械・施設の導入等に係る助成対象者を拡大します。また、企業が遊休農地等を、耕作に適した農地へ整備する場合に補助するモデル事業を実施します。
- 捕獲体験に参加していただく「千葉県有害鳥獣捕獲協力隊」事業において、より実践的な捕獲技術を習得する「捕獲コース」を新設し、さらなる担い手確保を目指します。
- 令和7年1月の高病原性鳥インフルエンザ連続発生等を踏まえて、県の防疫資機材の増強を図るとともに、養鶏事業者が取り組む先進的な発生予防策を支援します。

- 漁業就業体験や技術研修、漁船・漁具のリース導入支援の充実等により、新規就業者の確保・定着を図ります。また、外部人材を活用し、水産系高校の魅力向上や遠隔地からの生徒受け入れに向けた検討を進めます。
- 県産農林水産物の魅力を一層発信するため、著名なレストランやホテルのシェフ等を対象とした産地ツアーや県産豚肉加工品のプロモーションに取り組みます。
- 令和9年に横浜で開催される「2027年国際園芸博覧会」への出展に必要な準備を進めます。

〈主な事業〉

・新規就農者等に対する資金支援	138,500千円（19頁）
・農業参入促進農地整備モデル事業【新規】	10,000千円（19頁）
・千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業【一部新規】	10,000千円（20頁）
・家畜伝染病対策緊急強化事業【新規】	70,000千円（21頁）
・漁業の担い手確保・育成総合対策事業【一部新規】	71,854千円（23頁）
・水産系高校魅力化アドバイザー事業【新規】	11,000千円（24頁）
・「おいしい！千葉の農林水産物」プロモーション事業	11,000千円（25頁）
・国際園芸博覧会出展事業【新規】	30,000千円（25頁）

（債務負担行為 8,000千円）

2 社会資本の充実・防災基盤の整備

- 県民生活の利便性向上を図り、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、北千葉道路をはじめ、銚子連絡道路、長生グリーンラインなどのアクセス道路や地域に密着した道路など、**道路ネットワークの整備**を強力に進めます。
- 激甚化する災害から県民の生命・財産を守るため、一宮川をはじめとした**河川の改良**や、護岸改修などの**海岸保全施設の整備**を推進するほか、急傾斜地の擁壁工などの**土砂災害対策**を強化します。
- 住宅等の耐震化を促進するとともに、災害時に重要な役割を果たす緊急輸送道路の閉塞を防ぐため、**住宅等の耐震診断や耐震改修、除却等に助成する事業を拡充**します。
- 大規模災害からの早期復興に向けて、まちづくりの目標や実施方針などをあらかじめ定めておく**事前復興まちづくり計画**について、**市町村の策定を支援する手引きを作成**します。
- 老朽化が著しい**県庁舎等**について、**再整備のあり方や具体的な整備方針を示した基本構想・基本計画の策定**を進めます。

〈主な事業〉

・道路ネットワーク事業	24,926,524千円（26頁） （債務負担行為 11,646,000千円）
・河川・海岸・砂防事業	14,544,050千円（29頁） （債務負担行為 3,660,000千円）
・住宅・建築物の耐震化サポート事業	10,000千円（34頁）
・事前復興まちづくり計画策定支援事業【新規】	債務負担行為 24,000千円（35頁）
・県庁舎等再整備事業	35,000千円（36頁） （債務負担行為 138,000千円）

3 教育、こども・若者施策の充実

(1) 教育施策の充実

- 私立学校経常費補助について、国の標準単価に上乘せする県単独の補助単価を、高校、幼稚園ともに1,000円ずつ引き上げ、私学教育の一層の振興と保護者負担のさらなる軽減を図ります。
- 高校生等の授業料支援について、所得制限により制度の対象外となっていた生徒も対象とします。
- 児童生徒の学力向上のため、一部の県立高校・特別支援学校に電子黒板を導入し、授業における効果的な活用方法を研究します。
- 不登校児童生徒の多様な学びの場の充実を図るため、フリースクールの活動を支援するほか、メタバース上に交流の場を設けるモデル事業を実施します。
- 県立高校において、福祉等の関係機関との連携や専門人材の配置等を行うモデル事業を実施し、様々な課題を抱える生徒の社会的自立を支援します。
- 外国人児童生徒の学習上・生活上の指導体制を確立するため、県立高校において民間団体等と連携した日本語指導の研究等を行うとともに、市町村立中学校においてはオンラインによる日本語指導をモデル的に実施します。
- 特別支援学校の過密解消を図るため、新たに（仮称）流山地区特別支援学校の整備に着手します。

<主な事業>

・私立学校経常費補助（一般補助）	20,825,992千円（37頁）
・私立高等学校等就学支援事業【一部新規】	2,833,000千円（37頁）
・公立高等学校等就学支援事業【一部新規】	2,528,000千円（38頁）
・電子黒板導入事業【新規】	122,100千円（39頁）
・不登校児童生徒の教育機会確保事業【一部新規】	55,376千円（40頁）
・ウェルビーイング・ハイスクール設置モデル事業【新規】	15,000千円（41頁）
・日本語の指導を含むきめ細かな支援推進事業【一部新規】	21,300千円（41頁）
・（仮称）流山地区特別支援学校整備事業【新規】	債務負担行為 260,000千円（40頁）

(2) こども・若者施策の充実

- 若者の出会いを増やすため、企業・団体・市町村等と連携して、趣味等を切り口とした仲間づくり・出会いの場の創出に取り組めます。
- 放課後児童クラブへのインストラクターの派遣等により、体験活動の充実を図ります。
- 児童虐待の未然防止等を図るため、困難な事情を抱えた子育て世帯等を支援する市町村の取組に、県単独で上乗せ助成を行います。
- 児童相談所の業務改善や里親の負担軽減を図るため、里親と児童相談所等をつなぐシステムを開発します。また、全児童相談所において A I を活用した電話対応支援システムの本格導入を行います。

〈主な事業〉

・若者の仲間づくり支援事業（ミラチバ プロジェクト）【新規】	72,000千円（43頁）
・こどもの放課後体験活動支援事業【新規】	10,000千円（43頁）
・ちば家庭養育強化事業【新規】	100,000千円（43頁）
・里親委託に係る業務改善事業【新規】	債務負担行為 112,000千円（44頁）
・I C Tを活用した児童相談所業務改善事業	150,000千円（44頁） （債務負担行為 50,000千円）

4 医療・福祉の充実

- 高齢者の増加に伴い需要が拡大している**在宅医療従事者の安全を確保するため、相談窓口の設置や防犯機器の購入補助等**を行います。
- **若手医師のスキルアップや所属・業務の垣根を越えた交流を促進し、県内への定着を図るため、勉強会などの自主的なグループ活動を支援**します。
- 介護現場の業務効率化を図るため、**介護助手の導入によるタスクシフトや科学的介護に関する研修の充実等**により、業務改善に取り組む事業者を支援します。
- **アルコールや薬物、ギャンブル等依存症を予防するため、講演会等により啓発を強化するとともに、依存症からの回復支援や相談活動等に取り組む民間団体に助成**します。
- 農福連携の輪を広げるため、関心のある企業や教育関係者を集め、情報発信やマッチングの機会を提供する「**ちば農福連携フォーラム**」を開催します。

〈主な事業〉

・在宅医療従事者等安全確保対策事業【新規】	38,000千円（45頁）
・若手医師地域定着促進事業【新規】	4,000千円（45頁）
・介護事業所における業務改善支援事業	10,000千円（46頁）
・依存症対策地域支援事業	4,200千円（46頁）
・農福連携推進事業	3,000千円（47頁）

5 環境対策の推進、文化・スポーツ振興

- 次世代自動車の導入を促進するため、**観光・宿泊施設、太陽光発電設備における公共用充電設備の設置に対して助成**します。また、次世代型太陽電池として開発が進められている「**ペロブスカイト太陽電池**」を県有施設にモデル的に設置します。
- **令和8年度に7回目の「ちばアクアラインマラソン」を開催**することとし、大会の準備を進めます。また、パラスポーツのさらなる普及促進を図るため、**県内大学生の企画提案による地域住民を対象としたパラスポーツ教室を実施**します。

〈主な事業〉

・事業者向け次世代自動車等導入促進事業【一部新規】	22,000千円（48頁）
・次世代型太陽電池率先導入モデル事業【新規】	50,000千円（48頁）
・ちばアクアラインマラソン開催事業	57,500千円（49頁）
	（債務負担行為 128,000千円）
・パラスポーツ振興事業【一部新規】	2,030千円（49頁）